

令和5年7月1日

シルバー みはら

第90号

編集・発行

公益社団法人三原市シルバー人材センター
総務部会

〒723-0016 三原市宮沖五丁目9番32号

TEL 0848-63-2266 FAX 0848-63-5045

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/mihara/index>

正会員

男性 534人

女性 261人

合計 795人

(令和5年6月30日現在)

令和5年度 定時総会

公益社団法人 三原市シルバー人材センター



令和5年度定時総会 祝辞 岡田吉弘市長

令和5年度安全就業全国統一スローガン

「安全は無理せず 焦らず 油断せず」

7月は「安全・適正就業強化月間」です。

就業会員一人ひとりが細心の注意と自覚を持って事故防止に努めましょう

令和五年度 定時総会

挨拶



理事長 後藤 正文

皆さんこんにちは。理事長の後藤正文でございます。本日は、公益社団法人三原市シルバー人材センターの令和五年度定時総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には大変お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。また、三原市長の岡田吉弘様をはじめご来賓の皆様方には、公私ともご多忙の中ご臨席を賜りましてありがとうございます。また、日頃からシルバー事業の発展に多大なご尽力、ご支援を頂きまして、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。

ところで、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の増進に大きく役立っております。これが、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護用品の削減などに大きく貢献していると考えております。シルバー人材センターの基本理念であります『自主自立、共同共助』の理念に基づき、地域から愛され信頼されるシルバー人材センターを目

指してさらに努力してまいりたいと考えております。

本総会には、議案三件、報告二件の審議をお願いいたしております。慎重なるご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつと致します。

祝辞



三原市長 岡田 吉弘

本日は、公益社団法人三原市シルバー人材センターの令和五年度定時総会に多くの会員の皆様に参加され、このように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、平素から市政運営に当たりまして、格段のご支援とご協力を賜っており、この場をお借りして厚くお礼申し上げますとともに、長年の活動により、地域社会の活性化にも大きな貢献を頂いております。ことに対し、あらためて敬意を表します。この三年余り新型コロナウイルス感染症の影響により、行動制限を余儀なくされてきましたが、このような困難な状況の中でもシルバー人材センターにおかれましては、これまでの知識・経験を活かし、各地域において社会経済の維持・発展に寄与さ

れており、その役割は大変重要であると考えています。今後も事業推進のため、市や関係機関との連携強化や会員の拡大に積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本日の総会が皆様にとりまして実り多いものになりますよう、また、三原市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、本日お集りの皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしましてお祝いの挨拶とさせていただきます。



三原市議会議長 岡本 純祥

令和五年度三原市シルバー人材センターの定時総会がこのように盛大に開催されますこと誠にめでとございます。

就業を通じて、高齢者の健康維持や社会参加に寄与されれるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいております。三原市シルバー人材センターの活動に深く敬意を表するところであります。特にこの三年は、コロナ禍により活動が制限される中、現場で働く会員さんはもちろんのこと、役員の方々の皆様も大変ご苦労されたことと思います。その努力に対しまして重ねて敬意を表します。さて、日本はいよいよ「人生百年時代」に突入すると言われており、高齢化率が急



ご来賓の皆さま

激に高まると同時に「健康寿命」が延びていくという予測もあるようです。そうした中、働く意欲のある高齢者の受け皿として、また高齢社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターの役割は一層重要なものとなっております。

本議会といたしましても、高齢者が豊かな知識や能力を生かし社会を支える一員として、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動などに幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

結びに、三原市シルバー人材センターのますますのご発展と皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしましてお祝いのご挨拶とさせていただきます。

報告

令和五年度定時総会が去る六月九日（金）三原市リージョンプラザ 文化ホールにおいて開催されました。会員総数七九六名のうち出席者数は、五七九名（うち委任状提出者四四五名）でした。

総会は事務局の司会で進行され、後藤正文理事長の開会の挨拶で始まり、議長選出に移り、新谷利寛会員が議長に選出されました。事務局から出席会員が定足数に達し、本総会が成立した報告があり、議事に入りました。

議案は次のとおりです。

**第一号議案 令和四年度事業報告
について及び第二号議案 令和四年度収支決算について**

第一号議案「令和四年度事業報告について」と第二号議案「令和四年度収支決算について」は関連が深いため、一括して上程され、事務局より提案説明を行いました。令和四年度事業報告については、事務費を10%から15%に改定し経営の改善を図りましたが、昨年同様新型コロナウイルスの影響もあり、受注件数及び契約金額とも前年度を下回る結果となりました。

会員数については、退会者が入会者を上回ったため、残念ながら八七一人の目標には遠く及ばなかったとの報告がありました。

また、令和四年度は三原市からの提案で国庫補助事業として「空き家管理事業」に着手し、現在のところ受注実績はありませんが、今後もニーズは増えると思われれますので、引き続き三原市と連携し事業に取組みたいとの報告がありました。

令和四年度収支決算について、経常収益は三億三千二百四十二万一千八百五円、経常費用は三億三千二百三十三万一千八百三十八円で、当期経常増減額は十一万九千二百四十七円の黒字となりました。また、当期一般正味財産は、九万二千五百五十五円の減額となったことを説明しました。

会員から特に質問・意見等がないため質疑を終結し採決した結果、議案は原案のとおり承認されました。

第三号議案 役員を選任について

第三号議案役員を選任について、事務局から定款二十三条第一項の規定に基づき、理事・監事候補者を名簿のとおり選任することの説明があり、採択した結果、原案のとおり承認されました。

**第二号報告 令和五年度事業計画
について及び第一号報告 令和五年度収支予算について**

理事会において承認された第一号報告「令和五年度事業計画について」及び第二号報告「令和五年度収支予算に

ついて」は関連があるとして、事務局から一括して説明を行いました。

令和五年度事業計画については、経営基盤の強化のため、市の施設管理就業者にも交通費をいただくこともに、交通費にも15%の事務費を発注者の方からいただくことといたしました。

また、フリーランス新法に備え、新たに国庫補助事業で「デジタル利用促進事業」に着手し、会員向けにスマートフォンでの操作講習を行う予定であることの報告がありました。

会員の拡大については最重要課題であり、新型コロナウイルスが発生する前の令和二年度末の八七一人を目標とします。また、安全就業については、物損事故のペナルティ金額を増額することにより、会員の安全意識の高揚を図り、今後も引き続き交通安全と安全就業の啓発に取り組んでいくと説明がありました。

次に、令和五年度収支予算について、経常収益を三億九千九百七十七万四千円計上し、経常費用も三億九千九百七十七万四千円計上し、前年度との比較は三百七十一万二千円の増額としていとの説明がありました。

質疑に入ったところ、会員から予算金額の相違についてと予算の減額理由についての質問があり、事務局からは年間に二度補正をしていること、予算の減額については令和四年度では設立四十周年記念式や中期計画を策定する費用を含めていたが、令和五年度ではそういった費用を削除したため、消耗品費や印刷製本費を減額しているとの回答がされた。

その他特に質問・意見等がないため質疑を終結し、報告を終了しました。



役員紹介

任期（令和七年度定時総会時まで）

●理事長 首尾木 春樹

●副理事長 渡辺 清治

●常務理事 八幡 秀男

●理事 (新) 植村 正宏

大塚 利治

岡田 利文

木村 幸子

後藤 正文

新開 文字

(新) 末廣 保之

(新) 中島 一隆

(新) 福田 弘

大田 嘉宏

(新) 道町 祐造

(五十音順)



新役員 (令和5年度役員の皆様)



前列左から 新開理事、木村理事、中島理事、後藤理事、岡田理事、首尾木理事長、大田監事、渡辺副理事長
後列左から 道町監事(新)、末廣理事(新)、植村理事(新)、大塚理事、八幡常務理事 欠席 福田理事(新)

(役員退任者)



左から 平田前副理事長、磯谷前理事、河本前理事

役員を退任されました

在任中は大変お世話になりました

●前副理事長 平田 里光

●前理事 磯谷 吉彦

河本 英子

河村 秀雄

近広 詔三

吉廣 俊昭

夜船 康人

//

夜船 康人

//

吉廣 俊昭

//

近広 詔三

//

河村 秀雄

//

河本 英子

//

磯谷 吉彦